

# 海の向こうから

令和4年、今年も新型コロナウイルスの為、あまり活動の出来ない一年になりました。しかし、ワクチン接種が進み、ウィズコロナといった言葉が聞かれるようになって来ました。広島県OB会も活動を少しずつ再開して来ております。まずは派遣隊員のレポートから！

01



## ジンバブエより



2021年度1次隊 ジンバブエ派遣 体育 中下杏美  
初めまして、中下杏美と申します。広島県の公立中学校で保健体育科教員として5年間勤務した後、自己啓発休暇を取得して、協力隊に参加しています。現在、派遣されて1年です。この記事では、ジンバブエのこと、配属先での活動のこと、

そしてジンバブエのコロナ事情について紹介します。

### 【ジンバブエについて】

ジンバブエはアフリカ南部にある国です。日本から12,917km離れたところにあります。飛行機で約24時間で到着します。ちなみに徒歩では159日で着くそうです！（Googleマップ調べ）

面積：3860000 km<sup>2</sup>←日本よりやや大きいです。

人口：1,465万人←日本の約8分の1です。

言語：英語・ショナ語・ンデベレ語

宗教：キリスト教・土着の伝統宗教（外務省HPより）

### 【配属先と活動】

配属先：首都ハラレにあるモーガン教員養成校で小学校教員を養成する3年制の学校です。学生数は約1600人です。

活動：コロナ禍であること、小学校教員の養成校であること（学生は全科目の授業がある）、新規隊員でもあることから、

体育の授業が非常に少ない状態です。体育の授業を実施するというよりは、教材の作成や業務の効率化などが活動の中心です。

メインオフィス（モーガン）



マスキングの授業の様子



### 【ジンバブエのコロナ事情】

現在、国が発表している毎日の新規感染者数は一桁台となっており、とても少ないです。とはいえ、マスクをしたり消毒をしたりとコロナ禍であるという意識は継続されています。少し時系列でまとめてみます。

～赴任直後（1年前）～

コロナ禍で学校は度々閉鎖。赴任して1週間後に9ヶ月遅れで新入生を迎えて学校再開。分散登校・短縮時程・スポーツ実施には制限あり。

～オミクロンがやってきた（2021年12月）～

1日の新規感染者が6000人を超えるなど、身近にもコロナの感染者が増えてきた。

～2022年5月～

学校でのスポーツDAY（クラブ活動）の再開。コロナ前の時程に戻る。



アフリカンヘアに挑戦したり、アフリカ布で服を作ったり、活動以外でもジンバブエ生活を満喫しています。ジンバブエ人の優しさと明るさにいつも助けられています。



02



## パラグアイより

2021年度2次隊 パラグアイ派遣 コミュニティ開発 濱本義実

### 自己紹介

はじめまして。広島県廿日市市出身の濱本義実です。協力隊員になるまでに、4年間地方銀行で働き、その後に協力隊に応募、コロナ等による約2年半程度の待機期間があり、現在に至ります。趣味はサッカーと漫画。食べ物では、お好み焼きと広島風つけ麺が大好きです。

### パラグアイ

南米の中心に位置しています。公用語はスペイン語とグアラニー語（現地語）、人口は約730万人、面積は日本の1.1倍、食糧自給率は300%を越え、人よりも牛が多い農業大国です。胡麻等の輸出も盛んで、日本の某メーカーの有名な胡麻油の原料もパラグアイ産であると聞いたことがあります。日系の方が1万人近くおり、日本食レストランや日本の物を扱うお店もあります。ラテンアメリカらしく陽気な方が多く、至る所で音楽が鳴り響いています。



また、マテ茶をよく飲む習慣があり、仕事の会議中であろうと、テレビのニュース番組中であろうと自分用のマテ茶の水筒等を持参しています。

## 仕事

現在、パラグアイの国立アスンシオン大学の新事業創出支援室という所でコミュニティ開発隊員として活動しています。これから起業したい人達に向けてオフィスの提供や事業計画を立てる為の支援を行っている組織です。協力隊員の活動としては、同僚達向けの勉強会の実施や、起業家達の仕事の手伝いを行っています。



テレレ(冷たいマテ茶)を飲む為のセット

## 生活

パラグアイのサンロレンソ市という所で生活しています。(サンロレンソ市は首都のアスンシオンから10km程度の所に位置しています。)配属先の大学の敷地の隣のアパートで一人暮らし中です。アパートの友達もでき、休日も楽しく生活しております。スペイン語も少しずつ話せるようになってきたので、これからもう少し旅行等にも行きたいなと思っています。



自宅アパート屋上からの景色

03

## たまにはリアルで集まろう@ビヤガーデン 2022年6月4日(土)開催

平成14年度1次隊 タイ 青少年活動 井上和恵

コロナ第6波がおさまリ、世の中の規制が落ち着いていた頃、「たまにはリアルで集まろう@ビヤガーデン会」を、そごう広島店の屋上で開催しました。参加者はOB9名、一般3名(JICA ボランティアに興味のある方々)の12名で、実に3年ぶりの集いとなりました。室内店ではなく、風通しの良い会場なら、安心して集まれるのではないかと思い、屋上ビヤガーデンを選びました。今年の中国ブロック交流会は、広島県が担当なので、もし今年の開催ができるならば、この機会に準備に向けての意見をざっくばらんに出しあえたら、という思いもありました。

飲み放題食べ放題、時間無制限で大人 4,000 円のそごう屋上ビヤガーデン、空間も広くとってあり店側の感染対策もきちんとされていて、当日は安心して楽しむことができました。ひさびさのリアルでの再会に、話は尽きず、時間の許す方は、なんと閉店時間まで、存分に親睦を深めることができました。飲んだり、食べたりよりも、むしろ語りあうことをとことん楽しむ会であったように思います。初対面の方もいらっしゃいましたが、そこは皆さん、さすがのコミュニケーション能力で、和気藹々のとても楽しい会となりました。



コロナ以前は、広島のを代表する「ゆかた祭り」とも言われる、「とうかさん大祭」の時期に合わせて、「帰国隊員お帰りなさい会」兼「ビヤガーデン会」を開催しておりました。この集まりは、お祭りに遊びに来るついでに、ご家族や友人、JICA ボランティアに興味がある方たちを気軽に誘って、みんながワイワイ集えたら、という趣旨のもと、とうかさんのお祭りのメイン会場にほど近い、三越屋上のビヤガーデンで行っていたものです。今年は3年ぶりに、規模をかなり縮小してですが、ゆかた祭りが開催され、街中でゆかたを着て歩く人々の姿を見かけることができました。来年こそは、色々な事が落ち着いて、お祭りとお祭り会をみんなで一緒に楽しむことができたら、と願っています。浴衣や民族衣装など思い思いの装いで、仲間と楽しみましょう。もちろんお子様連れ、ご友人連れ、カープユニフォーム着用も大歓迎です。笑顔でまた集える日まで、みんなが元気でありますように。



(撮影協力 平成 20 年度 1 次隊 インドネシア 青少年活動 祝迫直子氏)

## 派遣前アンケート

訓練所～任国派遣前の想いを形にするためにアンケートを取りました。隊員の皆さんが、派遣された時の思いを忘れないように。

## アンケート内容

- ①名前 ②隊次／派遣国 ③職種 ④応募したきっかけ ⑤訓練所での辛かった思い出 ⑥訓練所での楽しかった思い出  
⑦2年間の活動中に挑戦したいことは？ ⑧出国を控えた今の心境は？ ⑨これから2年間の活動に向けての意気込みを一言



①品川 仁志(さとし) ②2022 年度 1 次隊  
／グアテマラ ③数学教育 ④開発途上国  
の子どもたちの現状をより深く知りたかったから。  
⑤スペイン語の勉強。 ⑥同じ数学教育隊員と自主講  
座をしました。広島と折り鶴の関係や、数学と折り鶴の  
関係など話をしました。講座終了後たくさんの方から  
声をかけて頂いてとても嬉しかったです。 ⑦グアテ  
マラと日本の子どもが交流する機会を作りたい。サッ  
カーが趣味なので、グアテマラ人とサッカーを楽しみ  
たい。 ⑧同期の仲間と情報共有しながら準備を進め  
ています。語学や治安など不安なこともあります。新  
しい世界に飛び込んでいくことへの楽しみな気持ちが  
大きいです。 ⑨グアテマラの子どもや教員の役に立  
てるよう一生懸命がんばります！



【2022 年度 1 次隊 壮行会 (2022.07.13)】



①榊田 滯史(れいじ) ②2022 年度 1 次隊  
／ジンバブエ ③柔道 ④海外に住んで  
みたい。 ⑤語学訓練 ⑥体育館でのスポーツ ⑦生  
徒のオリンピック出場 ⑧ワクワクしかありません。  
⑨日本人として恥じない活躍を心がけます！



①増田道子 ②2022 年度 1 次隊／チュニジ  
ア ③青少年活動 ④全ての子供達に学ぶ  
チャンスが与えられるような活動がしたいと思い、応  
募しました。また子供達に学ぶ楽しさを感じて欲しい  
と願っています。 ⑤フランス語が本当に辛かったで  
す！今も格闘中です。 ⑥仲間たちとスポーツやゲー  
ムをしたことです！ ⑦私の活動は聴覚障がいを持っ  
ている子どもの支援施設にいくので、アラビア手話が  
できるようになることです。また、日本文化や平和学習  
も取り入れられたらと考えています。 ⑧楽しみと不  
安ですね。。。 ⑨少しでも多くの方と触れ合い、気持ち  
に寄り添える国際貢献を目指します！



①沖田 大 ②2022 年度 2 次隊／ガーナ  
③青少年活動 ④おそらく、広告などかと  
思います。 ⑤スタッフとの関係性 ⑥仲間との交流  
⑦デジタル井戸の開発と平和友好都市 ⑧楽しみ 9 割  
心配 1 割 ⑨目標にした段階で不可能では無いと思  
います。目標を現実にする為のプロセスを試行錯誤して  
きます。



【2022 年度 2 次隊 壮行会 (2022.09.13)】



**会報発送作業 (2021.12.11)**

会報誌の発送作業を行いました。  
留学生会館にて。



**広島県 OB 会総会 (2022.02.05)**

昨年度は、オンラインにて OB 会総会のみ行いました。  
今回は対面だと思っています。皆さん、ご参加ください。

## 中国ブロック交流会を開催しました

2022年10月1日(土)~2日(日)、3年ぶりに、中国ブロック交流会が開催されました。会場は、広島県世羅郡の「せらワイナリー」及び「せらにし青少年旅行村」。広島県 OB 会が中心となって行われました。当初は2020年に開催予定で、2019年から準備を進めていましたが、コロナ禍で2021年に延期。さらにこれも再延期となり、モヤモヤした状態が続きましたが、今年、やっと開催にこぎつけました。

1日目、せらワイナリーでのバーベキュー昼食会でオープニング。JICA 中国からは岡田所長の参加もあり、時間を忘れ、会話が弾みました。会場の立地もあり、車での参加者が多かったものの、ノンアルコール飲料で気分を盛り上げながら楽しい時間を過ごしました。

その後、場所をせらにし青少年旅行村に移し、各県 OB 会の活動報告を行いました。コロナ禍でもそれ

ぞれが工夫をこらし、出来る活動を続けていました。夜は、広島県 OB 会有志の手料理でのおもてなし。3年ぶりのブロック交流会で話が尽きず、懇親会は夜遅くまで続きました。



2日目、みんなで朝食をいただきました。これも有志の手作りで、早朝6時ころより準備されたものでした。朝食後、集合写真を撮影して解散。残った広島県のメンバーで会場の片付けを行い、終了となりました。



中国5県持ち回りで行われているブロック交流会は、昼過ぎに集合して軽いアクティビティを楽しみ、夕方からメインイベントの宿泊懇親会で盛り上がるというのが通例となっていました。今回、コロナが終息していない状況での開催に躊躇もありましたが、再々延期は主メンバーにとって大きな負担でもありました。そこで、ランチバーベキューをメインにする事で、宿泊にまだ抵抗感のある人にも参加しやすい交流会としました。その結果、バーベキュー36人、宿泊28人（コロナ禍以前は60～100人規模だったので半分以下ですね）の参加となりました。開催できたことで、やっと肩の荷が下りた気持ちです。

料理担当の木村さん・神原さん・吉池さん、及び、花岡さん・羽熊さん・皿海さんなどのおかげで、びっくりするほど豪華な料理となりました。

協力していただいた皆さま、ありがとうございました。ご協力に感謝いたします。

## 今後の予定

以前に比べコロナに関する制限も緩和されてきました。2022年10月には全国旅行支援が始まり、水際対策の見直しも行われています。現在、第8波に入ったと言われていますが、今後は以前のようにイベントや交流が持てるようになるのではないかと考えています。JICA海外ボランティアの募集・派遣も再開されましたので、出発隊員がいる隊次では社行会を行う予定です。2023年2月4日(土)にはOB会総会を予定しており、来年度のイベント開催にむけて活発な話し合いが出来ればと思っています。「こんなイベントがしたい!」という希望のある方は、1月10日頃までに、会長、竹内まで連絡をください。イベント実施については、予定が決まり次第、広島県OB会のメール等にて連絡いたします。よろしくお願いいたします。

会報誌担当の 61 年度 2 次隊吉池俊二です。今年で 64 才になります。毎年 OB 会会報の編集作業に苦勞しております。今年も何とか出来ました。会報に記事を投稿いただいた皆様のおかげです。今後も皆さんに無理なお願いをしたいと思います。その時はよろしくお願いたします。広島県 OB 会の皆さんの中に私と同じ 60 代の方も多くおられると思います。時間を持って余しておられましたら、是非広島県 OB 会に参加し活動されては如何ですか。ちなみに私は、会社定年後に参加しました。出来る事を出来る様にやり参加しております。皆さんの参加を心よりお待ちしております。もちろん若い皆さん色々お忙しい事と思いますが、時間を作り活動にご参加ください。きっと楽しい時間を持つてると思います。

## 家族連絡会・総会のお知らせ

2023 年 2 月 4 日(土)に総会を開催します。場所は、広島市留学生会館 2 階ホールです。初めての方も、お久しぶりの方も、ぜひご参加ください。家族連絡会の開催については、現在調整中です。12 月末に決定し、メール等にて連絡する予定ですので、返信用ハガキは、開催するものとしてご回答ください。

この会報が届いている方は、広島県 OB 会名簿に名前が記載されており、総会に参加できます。ただし、議決権があるのは会費(2,000 円/年)を払った方のみです。会費を納め、運営に積極的に関わってくださる方をお待ちしています。

### ～当日の流れ～

#### 家族連絡会がある場合

11 時半～：集合・準備  
13～15 時：家族連絡会  
15 時過ぎ～：総会

#### 家族連絡会がない場合

14 時半：集合  
15 時～：総会

総会終了後、打ち上げ予定！？

## 広島県 JICA デスクからお知らせ

国際協力に関心を持つ皆様、あるいは、誰かのために何かしたいと考える皆様が、それぞれの立場でそれぞれの関わり方が出来るよう、情報を発信し、一緒に考えていきたいと思っています。

最新情報は JICA 広島デスク FACEBOOK ページから。

広島県 JICA デスク 推進員 羽立 082-242-8879

## 青年海外協力隊 広島県 OB 会 連絡先

会長：竹内英祐（平成 20 年度 4 次隊 ウガンダ 土木） / 事務局長：上野寛治（平成 21 年度 2 次隊 ドミニカ国 音楽）  
/ 会報誌担当：吉池俊二（昭和 61 年度 2 次隊 リベリア 自動車整備）・神原和代（平成 16 年度 1 次隊 ミクロネシア 理数科教師）  
メールアドレス：info@jocv-hiroshima.sakura.ne.jp（お問い合わせはこちらへ） / 任国滞在中の広島県出身隊員数：17 名（2022.11 末時点）